

# 令和 7 年 2 月 湯川村教育委員会定例会 会議録（秘密会分）

（令和 7 年 2 月 6 日開催）

湯川村教育委員会

# 令和7年2月湯川村教育委員会定例会会議録（秘密会）

〈開始時間 午後5時30分〉

---

## 1.2 定期報告事項【非公開】

### ※「小学校のあるべき姿についての報告書」及び「村民アンケートの評価」に係る会議録を抜粋

教育次長 あるべき姿検討委員会から、「小学校のあるべき姿についての報告書」が提出されました。アンケート結果を再確認・分析しながら、評価をしていきたいと思います。まずは、中学生以上の村民対象のアンケートの回収率が29.6%（788件）でした。一般的には郵送配付・ネット回答のアンケートでは回収率の目安は20～30%で、また、「対象人口にかかわらず約400件の有効回答があれば、全体の傾向を把握するのに十分」とされています。回収率がもっと高くなても、結果に大きな違いはないと思われますので、今回のアンケート結果は「信頼できる」としてよろしいでしょうか。

教育長 いかがでしょうか。

常法寺委員 もう少し回収率が高いとよかったです、しかたないと思います。

教育委員 了承

教育次長 中学生以上の村民対象のアンケートでは「統合した方がよい」が76%だったのに対し、小学3～6年生対象のアンケートでは「2つの小学校のままがいい」が53%と半数を超える結果でした。このことについてどのように捉えればよいでしょうか。

常法寺委員 中学生以上の76%が「統合したほうがいい」という結果だからといって、「2つの小学校のままがいい」という小学生の声を無視するわけにはいかない。

塩川委員 私もそう思う。「2つの小学校のままがいい」と回答した子どもたちの理由をしっかりと受け止めて、それに真摯に応えなければならない。

教育長 「2つの小学校のままがいい」と答えた理由は、「学級の人数が少ないほうが落ち着いて勉強や生活ができるから」、「学級の人数が少ないほうが先生にたくさん教えてもらえるから」というのが多かったです。そのほかに「今の学校が好きだから」とか「今の学校の歴史がなくなるから」などの答えもありました。

常法寺委員 「人数が少ないほうが落ち着いて生活や勉強ができる」とか「少ないほうが先生にたくさん教えてもらえる」とかは単純には言えない。先生の学級経営力や授業力の問題だと思う。

教育長 そのとおりだと思います。だからこそ、先生方には研修会などで学級づくりや授業づくり等のスキルアップを目指していただきたいと思っています。このために、湯川村教育委員会として夏休みに「人間関係づくり」の研修会を開催しましたし、来年度も開催しようと考えています。

齋藤委員 「統合した方がいい」という理由は、「人数が多くなるといろんな遊びができるから」、

- 「幼稚園の時の友達と一緒になるから」、「勉強や運動でいろんな人と競争するのが好きだから」等という答えが多かったみたいですね。
- 教育長 こういった気持ちに応えるためにも、先生方の資質・能力の向上を図ることが大切なのだと思います。
- 小野委員 「幼稚園の時の友達と一緒になるから」というのは、「小学校でも一緒にいたい」ということだし、中学生以上のアンケートでも「小学校のみ分かれる環境に違和感がある」とか「保育所・幼稚園・中学校が1つなのに、小学校だけ分かれるのが疑問」、「小学校だけ分かれる意味がわからない」等といった理由が複数ありますね。
- 齋藤委員 小学生のアンケートの「2つの小学校のままがいい」の理由の中に「感じわるいから」というのがありますけど、どういう意味ですか？
- 教育長 筑川小と勝常小の間で、一部の子ども同士の関係がよくないところがあります。私が児童クラブに行ったときにも、子どもたちからそのような訴えがあるときがあります。だからこそ、「人間関係づくり」が大切なのだと考えています。
- 齋藤委員 「スクールバスを出してほしい」という要望がかなりあります。統合小学校になれば、通学距離が長くなる子が出てきます。私もスクールバスは必要だと思います。
- 小野委員 熱中症対策としてもスクールバスは必要だと思います。特に勝常小の子どもたちは、長い距離を歩いて児童クラブを行っています。暑い日は熱中症にならないか心配ですし、吹雪や大雪など、悪天候の時も心配です。
- 教育長 統合したときのデメリットのひとつとして、「通学距離が長くなる」ことが挙げられます。アンケートでも「登下校に関する不安・スクールバスの検討」に関する意見・要望が40件もあります。アンケートの自由記述にもありますが、防犯の視点からもスクールバスは必要だと考えます。
- 常法寺委員 とにかく大事なのは複式解消に関する事。アンケートでは児童数の推移をグラフや表で示して「令和12年度に複式学級が現れる」と言っている。「複式学級を解消するために、統合したほうがよい」と答えた人がかなりいるのではないかと思う。
- 塩川委員 令和12年度開校を目指さないと、村民の期待を裏切ることになりかねないと思う。
- 教育次長 本日、内部資料としてこれから進め方の工程表案を配布しております。現時点で想定される工程では、このような期間を見込む必要があり、開校は令和14年度を見込んでいます。来年度は、教育委員会で統合小学校整備の基本方針を策定し、村民に説明していくことが必要と考えています。また、この基本方針の内容を第六次振興計画に入れ込んでいくこととなります。事務局でたたき台として基本方針（案）を作成し、教育委員会定例会等で検討・協議をしていただいて策定していきたいと考えております。なるべく早く策定したいと考えています。
- 塩川委員 令和14年度開校では、令和12年度から複式学級が2年間発生するが、その期間にどのように複式学級への対応をしていくか。教育委員会の中で検討していくのか。どのように子どもたちの教育をしていくのか、青写真があつての進め方の案なのか、を確認したい。
- 教育次長 複式学級を解消できる手段として、村独自で教員を雇う方法があります。このことについて基本方針に入れる必要があると考えています。
- 塩川委員 令和12年度から令和14年度開校までの2年間は、複式解消のために村で教員を雇

- うということを基本方針に組み込んで、住民に説明していくのか。
- 教育長 そうしていくしかないと考えています。
- 塩川委員 私は、令和 12 年度開校を目指すと考えていた。複式学級が 2 年間発生することを前提に基本方針を策定し、「教員を雇って複式学級を解消する」という説明をしたのでは、「それでは統合しなくていいのでは?」と思われるのではないか。村の財源にかかる村長の考え方や議会の意見が決まっていない中で、村で 2 年間教員を雇うことを基本方針に組み込んでは、いろいろな問題が出てくるのではないか。
- 常法寺委員 塩川委員と同じように、「令和 12 年度開校を目指して統合小学校を建設していく」と考えていた。「複式解消のために統合小学校を設置する」と考えていた。令和 12 年度開校から逆算して準備していくべきではないか。村で 2 年間教員を雇うのであれば、「統合する必要がない」となる。
- 塩川委員 そういう意見となります。
- 常法寺委員 工程表では準備委員会で基本構想・基本計画を策定することになっているが、教育委員会主体で基本構想(案)・基本計画(案)を作るのではないか。案を基に、何処の場所に、どう建設するか? 校章は? 校歌は? など、どのような統合小学校にするかは「開校準備委員会」という名称ではなく「統合小学校設置委員会」等を設置して、令和 12 年度開校として進めていく手順になるのではないか。そのために「あるべき姿検討委員会」で話し合ってきたのではないか。猪苗代町や会津若松市等、他自治体の統合小学校建設の前例を調査し、スケジュールを再検討する必要があると考える。猪苗代町では 2、3 年で統合した。建設場所に違いはあるが、それが普通だと思う。とにかく開校が令和 14 年度でいいのか、はなはだ疑問に思う。住民の方がどのように思うのか。
- 教育次長 工程表は、現時点での概要です。様々な課題がありますが、開校年度は大きな課題です。工程、財源、これから様々な内容を検討していくことになります。現時点の見込みでは、建設費の約 2 割の自己負担で建設できると考えております。例えば建設費が 20 億円かかるのであれば、その 2 割の 4 億円が村の負担となります。
- 常法寺委員 「小学校のあるべき姿」についての住民アンケートは「複式学級が出現するために統合小学校を建設する」内容となっていると思う。複式学級のメリット、デメリットを多く説明して、保護者や子どもを含めた村民が判断できるようにすることが大事だと考えていた。結果的には複式学級発生が一番考慮されている。4 億円を負担すれば建設できるのでならば、令和 12 年度開校に向けて進めてほしい。
- 教育次長 令和 12 年度開校を目指したいのはそのとおりです。現実的には、文化財の調査による影響等、確認しなければならない様々な事柄があります。
- 塩川委員 アンケートに答えた 1 村民の意見として聞いてほしいですが、やはり子どもたちの教育を充実するためには、「統合小学校にして複式学級を解消したほうがいい」という思いで回答している人が多いわけです。その中で、初めの基本方針で統合小の開校が令和 14 年度では、辻褄が合わないと思います。令和 12 年度に複式学級になる可能性が高いとして「統合した方がいいですか」とアンケートを実施しています。「子どもたちが不利益にならないような教育現場」が基本的な考え方な訳です。それなのに初めから複式学級が発生してから 2 年後に統合する基本方針では、一村民

として「ふざけるな」と思います。その2年間は、複式学級を解消するために教員を雇うということを基本方針に入れたら、「統合なんてする必要がないでしょう」という意見が出てくると思います。令和12年度に複式学級が発生する可能性が高いのであれば、そこを目指さなくてはならない。目指した結果、文化財調査や財政の問題で1年延びてしまうことはやむを得ないと思います。最初からの目標が「令和14年度開校」は、自分はおかしい、おかしすぎると思います。子どもたちに不利益にならないようにするためにどうしたらいいか、早めに村民の意見を抽出して村政に反映させたいからアンケートを実施した訳です。それが令和14年度開校の基本方針では、絶対におかしいと思います。我々教育委員で検討して、「2年間は複式学級を解消するために教員を雇います」という計画を示すのはおかしい。最初の計画で令和12年度に開校する予定で進めたが、財政上や文化財調査等の理由により「やむを得ず複式学級を解消するために教員を雇います」ということは説明ができると思います。始めから統合小開校まで教員を雇いますという計画はおかしいと思います。令和12年度から逆算をして開校を目指さなくてはいけないと思います。

常法寺委員 令和12年度に複式学級が発生するので、保護者を含めて村民は「統合しましょう」と答えている。一方、子どもたちは「統合しないで2つの学校がいい」と答えている。「統合せずに教員を雇って2年間は複式を解消する」のでは、「統合する必要がないのでは」となる。「お金をかけて統合する必要があるのか?」、「現在の学校を利用して質の高い教育を目指した方がいいのでは?」となると思います。村長さんの統合小学校の建設は公約なのに、このような開校年の予定でいいのかと思います。だから、令和12年度開校を目指して、逆算して建設をすすめるのがよいと思います。村長さんとよく話をして、教育委員からの意見をお伝えし基本方針を策定いただきたい。村民の意見を吸いあげたものを活かして、それに近づいたもので施策を遂行していただけたとありがたいと思います。

教育長 貴重なご意見ありがとうございます。

塩川委員 私も逆算をして進めるべきだと思います。また、現在、建築費が高騰しています。建設費の見積は高騰を考慮し精査してください。後は、村民が納得のいく計画を策定してほしいです。

教育次長 建設費の圧縮は重要な課題と認識しています。建設業界は完全週休2日制が導入され工期が以前より伸び、さらに入件費も増加しています。先程、建設費20億と言いましたが、25億、30億まで高騰してしまわないか、建設費の高騰は十分注意して精査していく必要があると認識しています。また、たとえば中学校の体育館を小学生も使用できないか等、どのようにすれば建設費を圧縮できるかについても検討していきます。今、建設に向けたスタートラインに立ちましたので、今後、事務局としても勉強していきたいと思います。

常法寺委員 建設費の問題だが、20億、30億かかるかもしれないが、こういう学校を創りたいという姿が出てきたときに、50億かかるかもしれない。また、逆に安く建設できるかもしれない。中学校と併設して建設し、中学校の既存の教室などを活用するという方法もある。いろいろな方法があると思うので、そういったことも設置委員会で検討してもらいたい。どの場所に、どんな姿の学校を造るのか、たとえば義務教育学

校は、小・中の場所がまとまつていないと設置できない。

教育長 小中一貫校に関する意見も 23 件寄せられています。小中一貫校とか義務教育学校を目指すのであれば、必然的に中学校の近くに校舎を建てる事になります。

常法寺委員 小学校と中学校をつないで、中学校の空き教室を活用することも考えられる。

教育長 建設場所や学校の形態等については、今後組織される「(仮称) 整備委員会」で検討していただく案件になるかと思います。今回は、アンケートの結果と寄せられた意見や要望について確認・分析していただきました。「湯川村立小学校のあるべき姿についての報告書」が、アンケート結果を反映しており、統合小学校のあるべき姿・を目指すべき姿を示している、笈川小学校と勝常小学校を「1 校に統合することが適切」としてよろしいでしょうか。

教育委員 了承

教育長 協議を終了します。

（終了時間 午後 6 時 00 分）